

ふるたほうかつだより

2024年 第2号(10月発行)

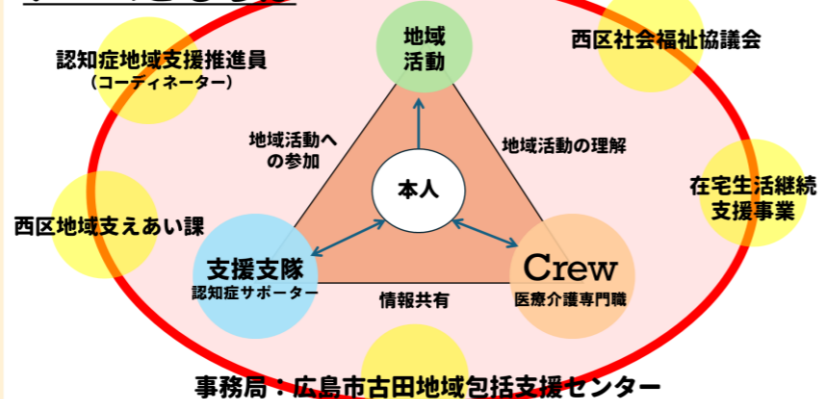
地域包括支援センターは、高齢者が健やかに暮らすためのあらゆる相談に対応する地域の総合相談窓口です。主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師等の専門職が中心となって連携を取りながら「チーム」として包括的に支援しています。

チームともろば(古田圏域における認知症支援チーム) サポーターと専門職の合同会議を開催!



古田圏域の認知症支援チームともろばの認知症サポーター(地域住民)と介護従事者の専門職団体が集まり、総勢20名弱で認知症のAさんについて意見交換をおこないました。今まで参加できていたサロンや地域活動に参加できなくなったAさんの気持ちに寄り添った支援をおこなうには、何ができるかそれぞれの立場で考えました。

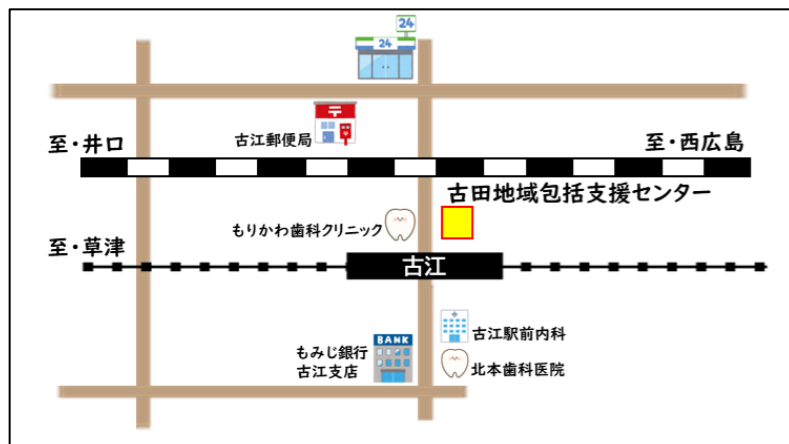
チームともろば



(「チームともろば」とは(右図) 本人が希望される生活を認知症サポーターの集まり「支援支隊」と医療介護の専門職の集まり「crew」や地域活動それぞれが連携しチームとなり、本人を支援します。 さらに、各種専門機関が連携することで、本人が希望される生活に向けて、支援体制を作っていきます。

広島市委託
広島市古田地域包括支援センター

住所: 733-0872
広島市西区古江東町5-3 桑原ビル
電話: 082-272-5173
FAX: 082-272-5186
営業日: 月~金曜日(祝祭日・年末年始を除く)
営業時間: 8:30~17:15
駐車場: 2台確保 ※相談は無料です。



気づいて! ~あなたの“ひとこと”で救われる方がいます~ あなたのまわりの **高齢者虐待**

近所から毎日のように
怒鳴り声が聞こえる...
何だか心配だわ



隣のおばあちゃん、
最近姿を見ないけど...
大丈夫かしら!



お金が自由に使えない
って言うけど..
年金はどうしてるのかな..



早期発見が重要です!

虐待をする人には、「虐待をしている」という自覚がない場合が多く、「言うことを聞かないから仕方ない」と考えていることもあります。

また、虐待の理由もさまざまに虐待をする人が単純に悪いとは言えないこともあります。

終わりのない介護に追い詰められていることも多々あります。大切なのは、日ごろから声をかける、地域から孤立させないことです。

こんな高齢者に気づいたら 迷わず相談を!

虐待かどうかの判断は不要です。また、相談者のお名前等が周囲に漏れることは決してありません。安心してご相談・ご連絡ください。

相談窓口

古田地域包括支援センター
TEL: (082) 272-5173

歩行姿勢に自信はありますか？



～みんなで取り組もうフレイル予防！歩行姿勢から分かるフレイルの**危険性**～

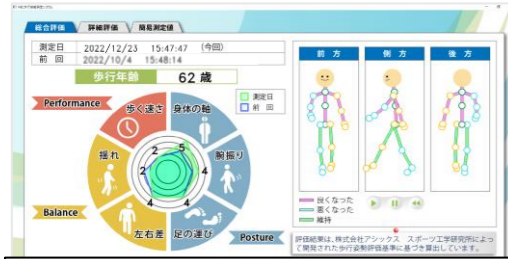


令和6年5月8日
当圏域で、百歳体操の世話人さんを対象にフレイルDX体験会を開催しました。

当日は、歩行測定器を前に歩行姿勢を測定したり（左写真）、簡単な質問項目に答えて（右写真）自身の健康状態やフレイル状態のチェックを行いました。

歩行測定器では、歩行姿勢を解析しリハビリの専門職（理学療法士、作業療法士など）からアドバイスをいただきました。

地域包括支援センターでは、介護予防教室や3年以上経過した百歳体操の場などで開催しております。



※上の方とは関係のないイメージ図です。

項目	65歳	60歳	57歳
歩行速度	0.8	1.0	1.2
歩行リズム	2	3	4
歩行姿勢	3	4	5
歩行安定性	4	5	6
歩行効率	5	6	7
歩行楽さ	6	7	8
歩行持続力	7	8	9
歩行安全性	8	9	10
歩行楽しさ	9	10	11
歩行習慣	10	11	12



高齢者の見守り活動 各地区で稼働中！

見守り活動って、どんなことをしているの？

地域で高齢者を見守るネットワークを作るために、地区社会福祉協議会をはじめ町内会、民生委員などと事務局である古田地域包括支援センターが一体となり、隣近所での見守りや集いの場での見守りをおこなっております。

見守り活動は基本的に「ゆるやかな見守り」で、夜間に電気がついていないか、洗濯物が干したままになっていないかなど、日常生活を送る中で確認できる活動です。

下記の手順のように、見守り活動へ申し込みをいただき、登録の手続きを行ないます。最終的には、見守り協力員とマッチングをおこない、見守り登録完了となります。見守り活動へご興味のある方は、古田地域包括支援センターまで気軽にご相談ください。

見守り活動登録手順



介護の悩み 一人で抱え込まないで

令和6年6月10日
古田、庚午、井口台・井口の3地域包括支援センター合同で「男性介護者の方への支援」について、事例をもとに勉強会をおこないました。

講師に社会福祉法人燈心会 理事長 野村妙子様をお招きし、男性介護者の心理状態や支援のポイントをご講義いただきました。

男性介護者の特徴として、周りの方へ「助けて」などの支援の要請を出しにくい心理状態に陥る方や要介護者の変化を受け入れられず元の元気だった状態に戻そうとする心理が働くなど、改めて介護者心理の難しさを学ぶ機会となりました。

現在、介護をされている方や皆様の周りに介護をされているけど、一人で頑張りすぎているのではないかなど、気になる方がおられましたら、匿名でのご相談でも大丈夫ですので、古田地域包括支援センターへご相談ください。



社会福祉法人 燈心会 理事長 野村妙子様



特殊詐欺被害ゼロの街へ

- 特殊詐欺を防止する
電話機に必要な**3つの要素**
- ① ナンバーディスプレイにする
 - ② 留守番電話対応にする
 - ③ 録音機能をつける
- その他
家族や知人といった特定の人物だけ電話登録し、登録番号以外電話にでない等

急を要する電話の内容でも、一人で決めず誰かに相談して決めましょう。早期の相談で詐欺の防止、被害を最小化することができます。

令和六年七月末現在で、特殊詐欺の被害総額は広島県全体で約**三億円**（広島県警察工）に達しています。昨年度と比較すると認知件数、被害総額は減少していますが、SNSを利用した詐欺やオレオレ詐欺、架空料金詐欺など、大きな被害がでているのは変わりない状況です。

また、例年秋から年末にかけて被害が増える傾向があります。気持ちも体もせわしくなる季節に、「年内にお金を振り込まないと延滞金が…」 「年内に投資をしておけば、年明け儲けがでます」 の様な詐欺の電話があると、賢明な判断ができず、詐欺にあってしまう可能性があります。

日頃から、今どんな詐欺が流行っているのか、何を気をつけたいといけないのか、詐欺から大切な財産を守るために必要な情報を収集しておきましょう。